

平成 19 年 6 月 26 日

報道提供資料

## 「ノボリト・アート・ストリート」の開催

7月14日（土）から、市民グループ「のぼりとゆうえん隊」によるアートプロジェクト「ノボリト・アート・ストリート」が開催されます。

「ノボリト・アート・ストリート」は小田急線／JR線登戸駅・小田急線向ヶ丘遊園駅から生田緑地・岡本太郎美術館までへと至る商店街をアート作品でつなげるプロジェクトです。

「登戸のまちがしゃべりだす」をテーマに、商店のエッセンスや個性を抽出した絵やオブジェがお店の中や周りに出現します。

なお、このプロジェクトのキックオフとして、6月30日（土）に参加アーティストによるライブペインティングなどのイベントが開催されます。

連絡先

多摩区役所総務企画課 竹花

電話 935-3140

## のぼりとまちなかアートプロジェクト第2弾

### 「ノボリト・アート・ストリート」開催

いつもの商店街がアートで埋め尽くされ  
岡本太郎美術館までの門前町として生まれ変わります  
登戸のまちがしゃべりだす

のぼりとまちなかアートプロジェクト(noborito-map)は、神奈川県川崎市多摩区登戸・向ヶ丘遊園地区を、県内外のアーティスト及び地域の人々が一丸となり、アート作品や創造活動で活性化させるまちづくり活動を「のぼりとゆうえん隊」が行っています。住む人・訪れる人にとって魅力的なまちとなることを目指しております。

のぼりとまちなかアートプロジェクト第2弾「ノボリト・アート・ストリート」を2007年7月14日(土)から7月29日(日)まで開催いたします。

「ノボリト・アート・ストリート」は、小田急線/JR登戸駅・小田急線向ヶ丘遊園駅から川崎市生田緑地・岡本太郎美術館までへと至る商店街をアート作品でつなげるプロジェクトです。



「登戸のまちがしゃべりだす」をテーマに、商店のエッセンスや個性を抽出した絵やオブジェがお店の中や周りに出没します。また、通りなど街中がアート作品であふれ出します。

作品を展示している商店の方、お店を訪れるお客様、子どもからお年寄りまで、さまざまな世代の方に「おもしろい!」「何これ?」と会話のきっかけを与え、商店街を明るく・おもしろくする機会になるのではと考えています。

この街の新しいコミュニケーションが生まれ出す「わくわく」「どきどき」に触れてもらうことでまちの魅力を再発見します。

noborito-map 第2弾「ノボリト・アート・ストリート」はアサヒビール株式会社が特別協賛となっている「アサヒ・アート・フェスティバル」に参加しています。「アサヒ・アート・フェスティバル」では、日本各地でさまざまなイベントを開催します。

#### ◆開催概要

- 【開催期間】 2007年7月14日(土)～7月29日(日)【最終日のみ作品展示は16:00まで】
- 【開催場所】 小田急線/JR登戸駅～小田急線向ヶ丘遊園駅～川崎市生田緑地内
- 【作品展示場所】 登戸のまちなか一帯  
(生田緑地、登戸駅前商店街、民家園通り商店街、遊園南口商店街)
- 【参加アーティスト】 ミヤザキ ケンスケ、山下昇平、山本耕一郎
- 【主催】 のぼりとゆうえん隊
- 【後援】 川崎市多摩区役所、川崎市岡本太郎美術館、神奈川県、川崎市、  
かわさきFM(79.1MHz)、川崎商工会議所
- 【協力】 民家園通り商店会、登戸駅前商店会、遊園南口商店会、KOI-GRAPHY、  
川崎市立登戸小学校、川崎市登戸区画整理事務所、  
川崎市環境局北部公園事務所、多摩区観光推進協議会、多摩区商店街連合会
- 【特別協賛】  **Asahi アサヒビール株式会社**
- 【助成】  **Asahi アサヒビール芸術文化財団**、NPO 法人ぐらす・かわさき
- 【問合せ】 e-mail: [mail@noborito-map.com](mailto:mail@noborito-map.com)
- 【ホームページ】 <http://www.noborito-map.com/>

本件に関するお問合せ先

のぼりとゆうえん隊 noborito-map 事務局 e-mail: [mail@noborito-map.com](mailto:mail@noborito-map.com)



## ミヤザキ ケンスケ

Kensuke Miyazaki

1978 年生まれ。佐賀県出身。

2006 年にロンドンより帰国後、マーク・ウィガンとのエキシビションや NHK の『熱中時間』の壁画制作など、本格的に日本での活動を開始した。

主な活動に、ケニア壁画プロジェクトやロンドン大脱走プロジェクトなどいずれの作品もスケールが大きく、人や街を取り込んだ絵画インスタレーションであることが特徴。

2004 年にフジテレビ「あいのり」に出演し、フィリピンの孤児院に描いたドラゴンの壁画は話題を呼んだ。

ホームページアドレス:<http://www.miyazakingdom.com/>



## 山下 昇平

Syohei Yamashita

舞台美術家／人形作家／イラストレーター

1976 年宮崎県生まれ

絵画を学んだにもかかわらず人形に手を染め、その後、いつのまにか舞台美術の世界に足を踏み入れる。

結果として舞台においてはフライヤーデザインから大道具、背景画、特殊小道具、衣装までもかかわることがある。

直近の作品等

【舞台】劇団夢現舎 第三回ロンドン公演「中庭の狂人」

(セットデザイン、衣装デザイン、小道具、及びフライヤーデザイン)

エヴァ アット ワーク「エヴァンゲリオン能舞」初号機面デザイン、製作

【映像】NHK BShi「養老先生に聞いてみよう！人生への疑問」オープニングムービー用人形

画アニメ「ダニッジ・ホラー」美術監督(人形アニメ的な映像作品)東映アニメーションより7月発売予定

【個展】都会のすきま展 ギャラリースペース POINT

そらのゆめ ギャラリーカフェ G-Cafe



## 山本 耕一郎

Koichiro Yamamoto

1969 年名古屋生まれ 茨城県在住

1996 年渡英。1998 年大学院卒業後、英国各地で、アーティストインレジデンス、非常勤講師、欧米各地での展覧会などを通して多くの人たちに出会う。2001 年研究補助金授与。

2003 年ジャーウッドプライズ最終選考 8 人。2003 年末帰国後も、たくさんの人たちとの出会いに助けられ生きているうちに、ひととひとがつながっていくことが楽しくなり、他人と自分に関するアート行為を行っている。テーマは「他人ごとと自分ごとの攪拌」

現在、ARTKIDS EXPO 2008 in 上野公園 総合企画委員。



## 開催直前イベント

### 「ノボリト・アート・ストリート」キックオフイベント

のぼりとまちなかアートプロジェクト第2弾「ノボリト・アート・ストリート」の開催予告イベント(キックオフイベント)を2007年6月30日(土)にダイエー向ヶ丘店正面入口広場にて開催いたします。

キックオフイベントでは「ノボリト・アート・ストリート」開催予告として「うちわ」募集、ライブペインティングなどを行います。

日時:2007年6月30日(土)14:00~18:00

開催場所:ダイエー向ヶ丘店正面入口広場

内容:◆「要らないうちわ ください」

ご家庭で眠っている・もらいすぎた・捨てようかと迷いつつなんとなくおいてあるような「うちわ」はありませんか?のぼりとゆうえん隊は、あなたの「うちわ」を募集しています。キックオフイベント当日は、ダイエー向ヶ丘店正面入口広場前設置の「うちわ箱」まで、お持ちください。合言葉は「要らないうちわ あげます」です。また、登戸駅・向ヶ丘遊園駅周辺に出没する、のぼりとゆうえん隊員も、「うちわ」回収作業を行っております。「うちわ ください」と書かれた吹き出しを目印にお探しください。あなたの「うちわ」が、「ノボリト・アート・ストリート」の作品として、街の新しい思い出に生まれ変わります!

#### ◆一緒にライブペインティングをしませんか

参加アーティスト「ミヤザキ ケンスケ」と一緒にライブペインティングをしませんか。ダイエー向ヶ丘店正面入口広場にて行われます。どなたでも自由にご参加できます。

「ミヤザキ ケンスケ」さんが描き出す作品はいずれもスケールが大きく、人や街を取り込んだ絵画インスタレーションです。当日はどのような作品が生まれ出されるのか?

ライブペインティング終了後、「ノボリト・アート・ストリート」の作品としてダイエー向ヶ丘店正面入口広場に展示いたします。

## 開催期間中の見逃せないイベント

### クラフトワークショップ「小さなまちをさがしてつくる」

アーティスト:山下昇平

日時:2007年7月22日(日)13:00~16:00

開催場所:川崎市生田緑地内

参加費用:500円(材料費・保険料含む)

定員:10名(親子参加の場合は10組まで可)

対象:小学生以上(製作に多少カッターなどを使用いたします)

申込み方法:7月20日までにe-mail:mail@noborito-map.comで応募ください。定員に達し次第、締めきりしますのでお早めにお申込みください。

### おしゃべり アートウォーク

日時:2007年7月14日(土)・21日(日) 13:00~受付開始

開催場所:ノボリト・アート・ストリート

参加方法:登戸駅・向ヶ丘遊園駅周辺の広報スペースで配布する「ノボリト・アート・ストリート」プログラムに、参加方法が明記されています。その場でどなたでも参加できます(無料)。たくさん作品を見て歩いてみましょう!

## 「noborito-map」とは

のぼりとまちなかアートプロジェクト(noborito-map)は、登戸・向ヶ丘遊園地区にある多摩川や生田緑地、岡本太郎美術館などの地域資源を活用し、そこにアートをかけ合わせる創造的まちづくりの試みです。現代アートは、絵画・彫刻といったモノだけでなく、人をワクワクさせるコトといった体験やコミュニケーションの創出まで、その領域を拡げています。現在大規模な土地区画整理事業が進行中で、大きな変貌の予感と不思議な停滞感が共存している登戸のまち。そこにアーティストが関わることで新しい魅力が生まれ、人々がそれに触れ、新しいコミュニケーションと「記憶の共有」が生まれる。そんな出来事の連鎖で「楽しい我がまち」を目指します。noborito-mapは、登戸・向ヶ丘遊園地区の未来への地図を描くプロジェクトなのです。

のぼりとまちなかアートプロジェクト(noborito-map)第1弾「たまかんさよならパーティ」は、2006年4月29日(土)~5月14日(日)に開催されました。登戸地域の人々に愛されて35年余り利用されてきた保育園・知的障害者施設・児童館からなる公共施設「川崎市多摩福祉館」(通称:たまかん)が、2006年3月末に閉館。「たまかん」とのサヨナラをテーマに各部屋や園庭・遊具・プール等を活かした作品展示、アーティストが保育室でオープンするコミュニティ・カフェ、かえるポイントによるおもちゃの交換会「かえっこバザール」、アーティストとの共同作業で作品ができ上がるワークショップ、音楽、ダンス、ゲームなど行われ大盛況のうちに幕を閉じました。

## まちの応援団「のぼりとゆうえん隊」とは

川崎市経済局が実施した「登戸地区商業ビジョン基本計画検討委員会」を契機に有志の市民委員が中心となり、2003年5月に結成。現在は、自発的活動をおこなう非営利市民グループとして、登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地域を中心に、住む人・訪れる人にとって地区が魅力的なまちとなることを目指して、地域資源を活用した多様な取り組みを行っています。幅広い世代から構成されるメンバーが、まちを楽しくする仕掛けを考え、協力者を募って自分たちで実現するというスタイルで、さまざまな活動を展開中です。

※ホームページ: <http://www.noborito.net/~noboritoyuuentai/>

※主な事業: ナイトバザール協力など各種イベント支援、ホームページ等による地元情報発信、地域のお店紹介、フリーマーケット、セミナー開催等